

Forest通信 令和4年 11

No.405

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山のいきものたち

クモガタヒョウモン

(タテハチョウ科)



オレンジ柄に黒い点が並ぶヒョウ柄の蝶。ヒョウモンチョウの仲間で、表の翅の黒斑がほぼ丸く、きれいに並んでいる。裏面の翅に雲状のぼやけた模様があるのが、名前の由来。丘陵地から山地の森林や周辺の草地、林縁部、溪谷などでみられ、日中、森林の周囲を飛翔し、アザミ類など様々な花に訪れ吸蜜し、また、路上や湿った場所で吸水する。

成虫は5月頃に現れ、夏には酷暑を避けるため休眠し、秋に再び活動し産卵する。冬は幼虫で過ごし、翌年初夏に羽化する。幼虫の食草はタチツボスミシなどスミシ類。全国的に広く分布しているが、雑木林や草地の減少などで個体数は少なくなっている。高尾山では森や様々な花に育まれ、命をつないでいる。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.70

髓のある樹木(3)

アオキ
(ミズキ科)

アオキは高尾山にもたくさん生えており、杉の植栽時の指標植物(造林した場合の生長の良否は、その林地の林床にどのような植物が生えているか手がかりとして判断することになる)とされている。また、一年中青々としていて冬になると実が赤くなるので青と赤であざやかさが目立つ。日本に古来からある植物である。

このアオキで意外と知られていないのが、髓があることです。若い時の生長が早いのもこの髓のあるためです。そのアオキが乾燥すると固くなり、髓を抜くと中空になるので火起こしの先棒として利用できます。縄文時代の人がアオキを使って火起こしをしたかどうかはわかりませんが、アオキを使って火起こしをやってみると意外と火種ができる時間が20秒足らずで出来ました。(もちろん個人差があります)ベスト3の樹木であるウツギ、アジサイ、キブシにくらべても見劣りしません。(富)



アオキの先棒



20秒で火種



アオキ

職場体験

八王子市立 第五中学校

9月27日(火)～29日(木)の3日間、八王子市立第五中学校の2年生2名の職場体験を受け入れました。

初日は、森林の管理や育成、遊歩道点検などについて学習・体験するため、さっそく高尾山頂までの山歩きです。稲荷山コースをナラ枯れ被害木、ヒノキやスギの人工林、国有林の境界標、森林教室で扱う動植物などを見聞きしながら山頂へ。帰路はいろはの森コースで遊歩道点検を体験し、ついでにゴミ拾いも行いました。

2日目は、八王子市内の小学校の森林教室です。小学生が丸太切りや火起こしの体験をする際の補助を行いました。「イベントを実施する側で気をつけること、すべきことが理解できた」との感想も。2名とも小学生相手に若干緊張しつつも森林教室を十分楽しんでいる様子でした。

最終日は、丸太切り用の材料となるヒノキの間伐。伐倒から林道までの運び出しを体験して、さすがに終わった後は疲れた様子でしたが、「色々な体験ができて良かった。これからも森林や林業のことに関心を持って勉強していきたい」との嬉しい言葉を残してくれました。(枝)



森林教室

江東区立 第四砂町小学校

9月30日(金)に、江東区立第四砂町小学校4年生82名の森林教室を実施しました。森林教室申し込みの際に担当のU先生から、「都会っ子で自然にふれあう機会が少なく、特にコロナの影響で野外での活動が制限されたため、是非とも自然の中で色々な体験をさせてやりたい。限られた時間にはなるが、センターで実施している森林学習、森林観察、丸太切りを体験させてもらいたい」との要望を受け、タイトなスケジュールでの実施とはなりましたが、ひと通りのプログラムを体験してもらいました。

午前中に実施した森林観察では、色々な植物に触れたり匂いを嗅いだりしながら雨天続きで滑りやすくなった歩道や、水量が増えた沢を怖いよと言いつつも笑顔で自然の中での体験を楽しんでいるようでした。

午後は、森林の働き等について学び、丸太切りも体験しました。丸太切りでは、短時間の間に殆どの児童が2枚の輪切りを手にし、大事そうにリュックにしまっていました。閉校式では、普段経験できない色々な体験が出来てとても楽しかった等の感想が次々に述べられ、先生からも素晴らしい体験ができた感謝の言葉をいただき、スタッフ一同にとって充実した1日となりました。皆さんまた高尾にきて素晴らしい自然を満喫してくださいね。(谷)



職場体験

八王子市立 石川中学校

10月4日(火)～6日(木)の3日間、八王子市立石川中学校の2年生3名の職場体験を受け入れました。

初日は、ヒノキの間伐体験です。丸太切りの材料に使う胸高直径15cm程度のヒノキですが、立木を伐って倒すのはみな初めてのようで、「思ったより時間がかかって大変だったけれど貴重な経験ができた」との声。午後はセンターに戻って森林・林業の現状についての講義。「大変な仕事なのに収入が少ない。でもその仕事をしてくれる人がいることを知り、そのことを忘れてはいけないと思った」との嬉しい感想も。

2日目は、70年近く育てたスギの人工林がいくらで売れるのか、実際に山で調査をして価格を計算する体験をしました。その後は炭焼教室で使う竹の炭材づくり。のこぎりで切って縦に割る作業を行いました。体格の良い生徒さんたちは、スパッと竹が割れるこの作業がツボにはまったようで、時間が経つのも忘れて楽しそうに取り組んでいました。

最終日はあいにくの雨降りでしたが、生徒さんの強い要望により予定通り森林の観察や清掃、遊歩道の点検などを行いながら高尾山頂を往復。「間伐したり計測したりした木とは比べものにならないほど大きな木が高尾山にはたくさんあることに驚いた」との率直な感想が聞かれました。(枝)



職場体験

江東区立 深川第八中学校

10月6日(木)、江東区立深川第八中学校の2年生の職場体験を受け入れました。前日、関東森林管理局東京事務所で職場体験を実施し、森林・林業関係全体のことを学習し、2日目は森林・林業の現場を体験したいとのことで担任の先生と3名で当センターを訪問したものです。

当日は、間伐体験や高尾山頂を経由しての遊歩道点検等を計画していましたが、あいにくの雨模様で本格的な林業体験は困難な状況であったことから、午前中は、当センターで実施している小学生向けの森林教室を体験することとし、高尾山日影沢探索ルートを回りながら森林の機能や植物の話の聞いたり、丸太切りを体験したりしました。

午後は、当センターが大平国有林に設置しているセンサーカメラの画像から野生動物をチェックしたり、1階の木工室でクラフト作りを体験しました。生徒からは、「山の樹木や植物について知ることができた」「キツネやタヌキやクマなど普段では見られない動物が東京にいることに驚いた」といった感想が寄せられ、雨の日1日だけの職場体験でしたが貴重な体験をしてもらったのではと思います。(瀬)



10月7日（金）、町田市立成瀬中央小学校の5年生児童53名に森林教室を実施しました。

午前は6グループに分かれて森林散策を実施しました。到着が1時間程遅れたこともあり、ショートカットコースで散策を行いました。また、当日はあいにくの雨のため、半分は散策終了後に森林学習を行う管理棟の中でお弁当を食べ、もう半分の班は、散策の途中にある「炭焼き小屋」と言うセンターの施設でお弁当を食べました。急な冷え込み、平地より高い標高、雨に濡れることで体調を崩さないよう、FSS（フォレストサポート スタッフ）の方々が事前にたき火を用意してくれました。炭焼き小屋でたき火スタンドの火を見つけると、みんなたき火を囲んで喜んでいました。ある程度暖まったらお弁当を食べて出発します。短い区間でしたが児童は散策中意欲的に質問し、知らないことを知れてとてもうれしそうでした。

午後は森林学習、丸太切り体験を実施しました。森林学習ではスライドを使い森林官の仕事の紹介・高尾山の動物たち・木材の生産など、さまざまなテーマに分けての講義を実施しました。丸太切り体験はFSSの方々が丁寧に教えてくれます。切った輪切りは皮を剥いてお土産にします。厚みが様々な輪切りを手に満面の笑みでした。

あいにくの雨で実施できるか心配したが、無事に実施することができました。（岩）

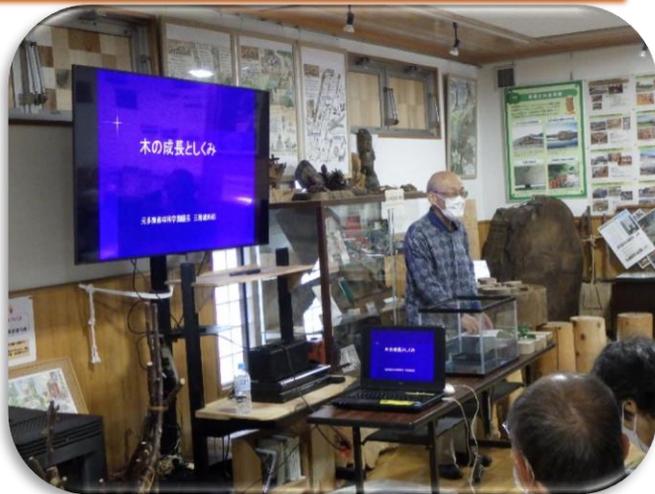


公募イベント 森林カレッジⅢ

10月15日（土）に森林カレッジⅢが開催されました。今回のカレッジは講義のみでした。内容は「木の成長としくみ」という内容です。

普段なにげなく見ている森林ですが、木の成長やしぐみについて意外と知られていないことが多く、講義を進めていくなかで参加者から驚きとため息が出る瞬間も多々ありました。特に木の内部（年輪）は成長していく木を支えるための構造を持っているものの、実際に生きている細胞は甘皮の部分のみであることについては多くの方が知らないという事実には驚かされました。また木材の比重については木材の密度の違いであり、材質は基本的にはどんな木も同じであることについても参加者の多くが知らないことでした。

今年度の森林カレッジも残すところあと一回となりましたが、多くの参加者が森林や林業に興味を持っていただければ幸いです。（磯）



森林教室

調布市立 富士見台小学校

10月20日（木）に調布市立富士見台小学校5年生76名の森林教室を行いました。

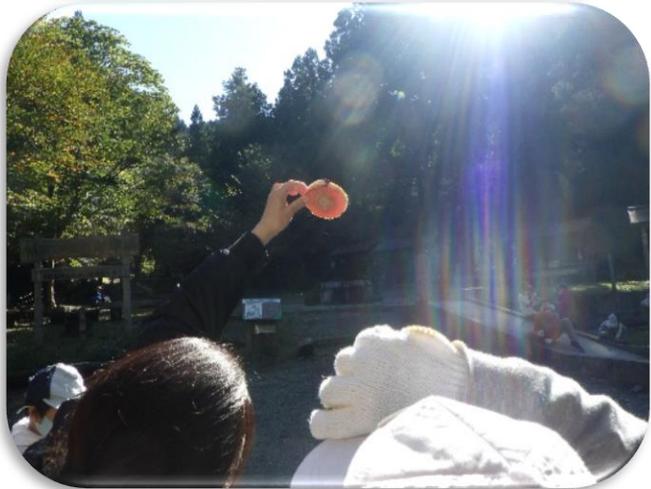
秋雨前線の影響でぐずついた天気が続いていましたが、当日は、雲一つない素晴らしい秋晴れの中での実施となりました。予定した時間よりも早く到着した児童たちは、今日を楽しみにしていたのか、元気な挨拶でのスタートとなりました。

午前中は、全体を6班に分けての森林観察です。この秋一番の冷え込みとなり林内に入ると寒がる児童もいましたが、色々なひつつき虫や、触れると種がはじけ飛ぶツリフネソウ、レモンの香りがするレモンエゴマ等の植物に興味津々でスタッフの説明を聞きながら歩くうちに寒さも忘れ、終了する頃には暑いと言い出す児童もいました。

午後は、2グループに分けて森林学習と丸太切りを交互に実施しました。森林学習では、森林の働きや、林業について説明する職員の話真剣に聞いていました。丸太切りでは、スタッフの指導も必要ないくらいにノコギリをうまく使いこなしていました。

閉校式では、森林学習で学んだ世界、日本、東京都の森林率や、高尾山の植物、動物の種類数を一つ一つ発表する児童や、多くの児童が次々に手を上げ「森林教室を通じて自然を大切にしたいと思った」「新しいことを知ることができ勉強になった」等々多くの感想が発表され、今日1日を楽しく、そしてたくさんのことを学んでくれたことを感じることができました。

（谷）



森林教室

多摩市立 大松台小学校

10月21日（金）、多摩市立大松台小学校の5年生児童67名に森林教室を実施しました。

午前は6グループに分かれて1時間45分の森林散策、午後は2グループに分かれて50分ずつ森林学習（座学）と丸太切りを交代で行いました。

森林散策では実りの秋になり、実や種がいろいろなところで観察できます。中でも通称「クツキムシ」と呼ばれるトゲやねばりで服に付く植物の種に夢中になりました。観察中にクツキムシをいくつ見つけられるか？と問いかけると、行く先々で服に付くかどうか触りながら確認していました。全部で9種類は見つけられました。

午後は森林学習、丸太切り体験を実施しました。森林学習では、スライドを使い森林官の仕事の紹介・高尾山の動物たち・木材の生産など、さまざまなテーマに分けての講義を実施しました。

丸太切り体験はFSS（フォレスト サポート スタッフ）の方々が丁寧に教えてくれます。薄く輪切ると、まだ乾いていない材は陽を透かしオレンジ色に変わります。それを目指して薄く切る挑戦をする児童も多かったです。

今回の森林教室は、とてもいい天気でひさしぶりに暖かいくらいでした。（岩）



再生可能な燃料「炭」を作ろう！

炭は、化石燃料とは違い、木を育てれば使った分の二酸化炭素は森に戻すことができることから「再生可能な燃料」として注目されています！！そして炭はとても万能なアイテム！

燃料、消臭、水をおいしくしたり、飾りになったり

でも、普段の私たちは「炭は買う物」……そんなすごい万能アイテムの

「炭」を自分で作る体験をしませんか？



2022
12/17(土)
高尾森林ふれあい推進センター
日影沢キャンプ場奥の
炭焼き小屋10:00～15:00
応募は11月28日(月)まで

作成風景



(表面・往信面)

応募には**往復はがき**が必要です(郵便局で購入できます)イベントの詳細は高尾森林ふれあい推進センターホームページにあります。

公式ホームページ
主催イベント→
情報



63

往 信

〒193-0844

八王子市高尾町2438の1
高尾森林ふれあい推進センター
炭焼き体験係

※何も記入しないでください
センターでの抽選結果通知
記入スペースになります

(裏面・返信面)

63

返 信

〒郵便番号

【返信先】ご自分の住所

ご自分の氏名
様

事務の省力化のため「様」とお
書きください。お願いします。

- ①炭焼き体験
- ②郵便番号
- ③住所
- ④氏名(よみがなを書くこと)
- ⑤年齢
- ⑥電話番号

(日中必ず連絡がとれる番号)

編集後記

高尾は、毎週のように「今年一番の寒さ!!」を更新しています。

樹々は色付き実を付け、森林教室も時々焚き火で暖を取りながらの実施となり、秋の深まりを実感しています。



ゴンスイ

Forest通信 NO.405

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

